

「夢」をもち、「夢」に向かって努力する生徒

# 原北中学校 学校通信



令和 2年 9月28日 第9号

福岡市早良区小田部7-11-1

電話 092-851-3344

発行者 校長 福崎 浩信



## 2学期が始まって1ヶ月が過ぎました。

例年であれば、1学期に終わっている発育測定、歯科検診を終え、これから、眼科検診、耳鼻科検診へと続きます。9月10日は、2年生の保護者を対象に修学旅行説明会を行いました。コロナ禍にあって、今年は1泊2日で山口へ変更しました。15日は、生徒会役員改選が行われました。生徒会長が専門委員長を任命し、いよいよ新体制での生徒会活動が始まります。順調に授業時数が回復されているおかげで、24日と25日は予定通り、定期考査が行われました。そして、今日から、50分の6コマ（週1回程度は5コマ）の授業に戻りました。

## 道は開ける(成せばなる) 「自然界、建築、絵画などに多く見られる黄金比」

イタリアの数学者フィボナッチによって有名になった、フィボナッチ数列は、「2つ前の項と1つ前の項を足し合わせていくことでできる数列」のことです。数列は「1,1」から始まり、1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55…と続いていきます。

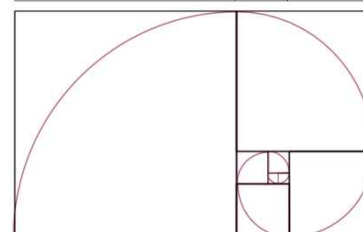
フィボナッチ数列は、図形で表すこともできます。まず、1辺の長さが1の正方形を2つならべます。縦の長さは1、横の長さは2です。その上に、1辺の長さが2の正方形をおきます。縦の長さは3、横の長さは2です。このあとも1辺の長さが3の正方形、5の正方形、8の正方形…を並べていって、大きな長方形を作ります。

並んだ正方形の1つを中心にして、一辺の長さを半径にして1/4の円を書いていくと、自然界で見られるオーム貝の断面やアワビの貝殻などと同じになります。

ひまわりの種も有名です。ひまわりは花の中心に種が隙間なく並んでいますが、よく見ると右回りと左回りに、螺旋上に並んでいることがわかります。この列は、ほとんどの場合「21, 34, 55」というフィボナッチ数列の中の数になるそうです。更には、右巻と左巻の本数がフィボナッチ数列の34本と、55本などのように隣り合わせの数になっています。

このほかにも、パルテノン神殿、ミロのビーナス、スーラの点描画グランドジャット島の日曜、クワガタ虫や、ゆで卵、松ぼっくりやパイナップル、魚の鱗の配列などにも隠れています。共通していることは黄金比（ $n$ が大きくなると $n$ 番目の数と $n+1$ 番目の数の比 $=1:1.618\dots$ に近づいていく）です。3年生で学習する2次方程式にも関係がある内容です。

他にも、白銀比（1.414…）があり、法隆寺の金堂などに見ることができます。



## 10月の主な学校行事

8日(木)	眼科検診 6限目 高校の先生をお招きしての進路学習(3年)
9日(金)	1限目 高校の先生をお招きしての進路学習(3年)
12日(月)	教育実習 30日(金)まで
15日(木)	給食再開(予定)
17日(土)	授業参観
20日(火)	県立高校入試説明会@修猷館高校 進路指導主事参加
22日(木)	市立高校入試説明会@福岡市教育センター 校長・進路指導主事参加
27日(火)	第6学区連絡会@早良高校 校長・進路指導主事参加

## 立会演説会の挨拶から

現在、会長の田原さんをはじめ生徒会の役員が、日々主体的な活動を行い、原北中学校を支えています。また、よりよい学校になるよう牽引してくれています。

今回、8名が立候補しました。先月20日に公示、9日から15日までの実質5日間の選挙運動の中で、全員が公約をしっかりと伝えてきました。

選挙にのぞむにあたって、2つの責任などについて話しました。

1つ目は、「公約を果たす」ということへの責任です。

2つ目は、「選挙をしたからには選ばれたリーダーに協力する」ということへの責任です。選挙は、民主主義の原点とも言われています。

18歳になったら、選挙権が与えられ国会議員や、市長・県知事・県議会議員・市議会議員を選ぶことができます。今回の改選は、選挙権が与えられる18歳からの疑似体験にもなりますが、皆さんの清き1票を、演説を良く聴いて投票してほしいと思います。

## 避難訓練の挨拶から

被害を最小限に防ぐためには、常日頃からの準備が必要です。日頃出来ないことは、大事なときには出来ません。有事の言動は、平事の言動にあるということです。

実際に災害が発生した時の重要な心得を3つ話します。

1つ目は、正しい知識をもっておくことです。

燃えている部屋のドアや窓が閉められていれば延焼速度が遅くなりますが、室内の温度が高くなって、室内に充満した可燃性ガスに引火して爆発的に延焼するフラッシュオーバーや、火災により室内の酸素が欠乏した状態で、ドアを開けたり、窓を割ったりすると、大量の酸素が一気に流れ込み、爆発的な炎(ほのお)を生じるバックドラフトなどの火災現象が起き、二次災害・三次災害をもたらします。初期消火ができなかったら無理をせず避難することが大事です。避難のタイミングを逃すと命に関わることにもなりかねません。

2つ目は、情報を正確に収集する力です。

どんなときも、確かな情報を素早くキャッチすることが大切です。

3つ目は、正しく判断し、対応力する力です。

情報を正しく整理し、判断をするためには、日頃から身の回りの物をきちんと整理しておくことや、考え方を整理しておくことが大切です。

常日頃の生活の中で、主体的かつ正確に情報を収集する力を磨き、積み上げた事実の中から正しく判断し行動する習慣を身に付けておいて下さい。